

[プログラム]

司会：後藤 絵美(東京外国語大学AA研)

13:30-15:00

第一部 イスラーム・ジェンダー・スタディーズの軌跡

時間的・空間的な多様性を考える

(森田 豊子(鹿児島大学)、第1巻『結婚と離婚』編者)

民衆の渴望へのアプローチ

(鷹木 恵子(桜美林大学)、第2巻『越境する社会運動』編者)

選択できる人生を切り拓く

(服部 美奈(名古屋大学)、第3巻『教育とエンパワーメント』編者)

知のメイキング現場としてのフィールド

(鳥山 純子(立命館大学)、第4巻『フィールド経験からの語り』編者)

〈わたし〉らしく生きる—女たちの生の軌跡と装い

(岡 真理(京都大学)、第5巻『記憶と記録にみる女性たちと百年』編者)

15:00-15:20 休憩

15:20-16:30

第二部 イスラーム・ジェンダー学が目指すもの

発題：長沢 栄治(本科研代表、東京外国語大学AA研)

イスラーム・ジェンダー学と公正へのアプローチ  
—intersectionalityと新しい人文学

ディスカッション

2022 10.9 13:30~16:30

[形式] ハイブリッド方式

[会場] 東京大学本郷キャンパス／オンライン(Zoom)

[参加方法]

※オンライン参加をご希望の方には、開催前日までにZoomリンクを登録メールアドレスにお送りします。

※会場参加をご希望の方はご連絡先の明記をお願いします。また、詳細についてはご登録いただいたメールアドレスに別途ご連絡差し上げます。

[主催] 基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表：長沢栄治、20H00085)

[お問い合わせ] イスラーム・ジェンダー学科研事務局

※詳細は科研ウェブサイトをご覧ください。

# イスラーム・ジェンダー学が目指すもの 公正の問題を考える